

### 家庭・地域・保育所・学校連携防災訓練を実施

福良地区で1月18日、家庭・地域・保育所・学校が連携した防災訓練が開催されました。「災害時に命を守るための行動ができること」、「助け合いの心や思いやりの心を根づかせ生きる力を育むこと」、「災害時に安全に避難するため日頃から取り組みべきこと」について理解すること」の3つを目的に各団体が参加して行われました。参加した児童や園児、その



▲福良小学校に避難する参加者(左)、大勢の人が訓練に参加しました(右)



▲みんなで防災〇×クイズに挑戦

保護者らは、指定されている一時避難場所に集合・点呼後、徒歩で地震・津波の拠点避難所の福良小学校へ避難しました。

はじめに福良連合自治会の原孝会長から避難路のカラー塗装や避難路へのアクセスの検討など地域の取り組みについて話があり、「揺れたら高台へ」と強調して話を締めくくられました。

続いて参加者らは〇×クイズを通して防災について学習しました。「地震が起こると必ず津波が来る(答え×)」や「津波はいつも引き波から起こる(答え×)」など12問のクイズに挑戦。成績が良かった子ど

### 子ども伝統芸能発表会

今年で10回目になる子ども伝統芸能発表会が2月8日、西淡公民館で開催されました。今年度は学校や地域で伝統芸能を継承する市内14団体の約280人が参加。踊りや太鼓を披露しました。

これは子どもたちの発表の場とするともに、歴史・文化に関する関心や理解を深めてもらうことを目的に毎年開催されています。

今年度は三原志知小学校と倭文中学校の2団体が初参加となりました。全校生徒18人

で参加した三原志知小学校は「豊年太鼓」など3曲を演奏。子どもたちが動きながら奏でる和太鼓は、表現豊かな演奏で観客を魅了していました。また倭文中学校の音楽部3人による「祈り、踊り打ち」などの和太鼓の演奏は、その太鼓の音と一糸乱れぬ動きに驚きと感動を与えていました。



▲和太鼓の演奏三原志知小学校の子どもたち(上)と倭文中学校音楽部の子どもたち(下)

### 辰美小2年生、映画祭で募金活動

辰美小学校の2年生3人が2月4日、社会福祉協議会せいだん支部を訪れ自分たちで集めた募金を手渡しました。

昨年11月8日にフィリピン中部を襲い、甚大な被害をもたらした台風30号のニュースが連日、大きく報道されていました。子どもたちにも世界の情勢を知って欲しいとの思いから先生は募金活動を行うことを思いついたそうです。



▲募金を社会福祉協議会に手渡しました

昨年11月30日、子どもたちはアジア国際子ども映画祭が開催された文化体育館の出入り口に立ち、手作りの募金箱を持ち、「募金をお願いします」と国内外からの来場者に声をかけました。日本の人たちだけでなく、海外から参加した子どもたちが話しかけて

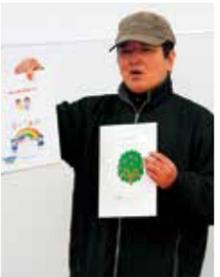
くれたり、募金をしてくれました。子どもたちは「募金活動は初めてだった。いろんな人に声をかけてもらったこと、募金してもらったことがうれしかった」と話してくれました。



▲映画祭会場募金活動を行う子どもたち

子どもたちは「募金活動は初めてだった。いろんな人に声をかけてもらったこと、募金してもらったことがうれしかった」と話してくれました。子どもたちが集めた募金は日本赤十字社を通じてフィリピンに送られます。

### 榎列小学校で手話体験教室



▲手話講師の吉田健二さんから自作の創作童話も寄贈されました

手話を通して聴覚障害について学ぶ手話体験教室が2月6日、榎列小学校で行われました。3年生33人が最初に授業で「やさしいまちづくり」について様々な工夫や気配りが身の回りであつて、優しい人の心と行動がさらに大切であることを話

し合いました。続いて手話のボランティア活動を続けている吉田健二さん(洲本市)を講師に迎え、聴覚障害についての理解や手話の必要性などについて話してもらったあと、手話で簡単な日常のあいさつや自分の名前を表現する方法を教えるもらいました。

最後に学習発表会でも披露したビリーブの曲を手話で元気よく合唱。児童たちにとって相手の心の痛みや、人への思いやりを考

▲自分の名前を手話で表現する方法を教わる児童たち

### ランニングフェスティバルを開催



▲ゴールを目指して懸命に走る参加者

市体育協会主催の「南あわじランニングフェスティバル」が2月16日、淡路ふれあい公園で開催されました。晴天に恵まれたこの日、子どもから大人まで約600人がさわやかな汗を流しました。

オーブニングイベントでは、子ども達によるトランポ・ロピックスが大会に花を添え、開会式では出場選手を代表して野上かえでさん(広田小)が「タスキに思いを込めて最後まで走りきることを誓いま

す」と力強く宣誓しました。その後、参加者は体操を行い準備を整えました。

競技はフアンランや親子でゴールを目指すファミリアア、チームでタスキをつなぎ制限時間内に何周できるかを競うタスキリレーが行われ、各選手が自分にあつたコースに挑戦しました。沿道からの「頑張れ」「あと少し」などのたくさんの人からの声援を受けながら懸命にゴールを目指していました。